環境シンポジウム
ぼくたちわたしたちの地球会議 2023
気候非常事態宣言に向けて

【講演】

「海から見た地球」

講師　**武本 匡弘**（たけもと まさひろ） 氏

（環境活動家・プロダイバー歴40年）

プロダイバーが自分の目で見てきた、
海の環境変化の実態を伝えます。

【パネルディスカッション】

「山･川･海の生物多様性から
気候非常事態宣言を考える」

ゲスト　**石戸谷 博範**（いしどや ひろのり） 氏

（東京大学生産技術研究所
平塚総合海洋実験場）

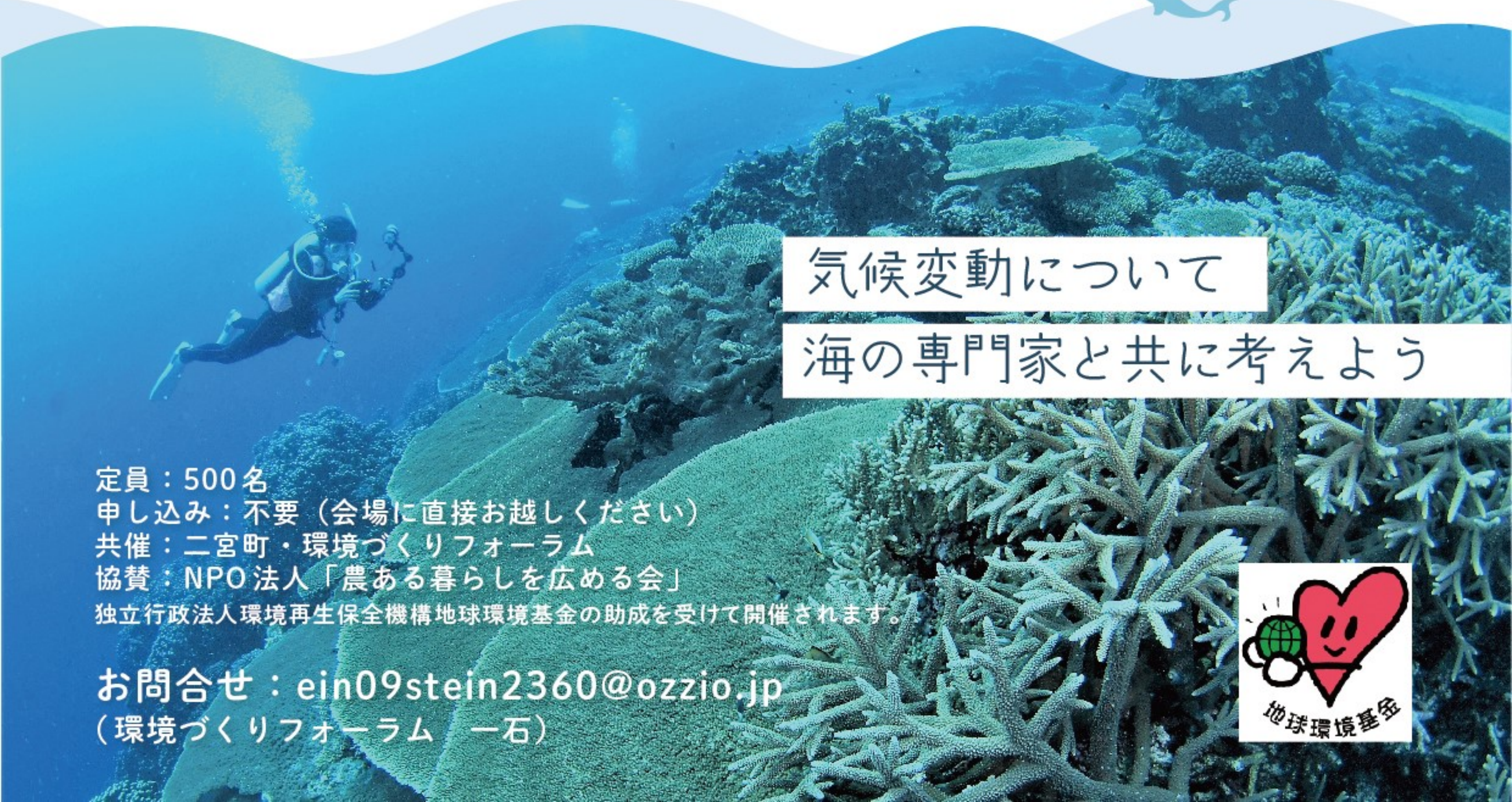
2023

3/26(日)

14:00 ▶ 16:15

ラディアンホール

入場無料



気候変動について
海の専門家と共に考えよう

定員：500名
申し込み：不要（会場に直接お越しください）
共催：二宮町・環境づくりフォーラム
協賛：NPO法人「農ある暮らしを広める会」
独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて開催されます。

お問合せ：ein09stein2360@ozzio.jp
（環境づくりフォーラム　一石）

地球環境基金

二宮町では2021年から環境団体、
子どもたちと大人たちが力を合わせ、
「ぼくたちわたしたちの地球会議」を
ラディアンホールで多くの町民の方々と
開催してきました。

昨年のテーマは
「山水郷～循環するわたしたち」
「私たち生きものの中の私」
今回は海～
二宮町「気候非常事態宣言」発出に向けて
生物多様性の今と、子どもたちと歩むこれからを
皆さんと一緒に考えます。

環境シンポジウム
ぼくたちわたしたちの地球会議 2023

講演

「海から見た地球」

講師　武本(たけもと) 匡弘(まさひろ) 氏
（環境活動家・プロダイバー歴40年）

プロダイバー・環境活動家・NPO法人気候危機対策ネットワーク代表
1985年 ダイビング会社設立。
プロダイバーとしてのキャリアは約40年、主に環太平洋の海洋環境の変化等を記録し続ける。
同時にこの間４団体の環境NPO設立に関わる。
2015年より気候変動・海洋漂流ごみの探査等を目的に「太平洋航海プロジェクト」を開始。
自ら操船するヨットによる航海日数は、延べ270日。航海距離は15,500マイル（29,000㎞）
（財）日本自然保護協会自然観察指導員
日本サンゴ礁学会会員
グリーンピース ジャパンアンバサダー

パネルディスカッション

「山･川･海の生物多様性から気候非常事態宣言を考える」

武本先生と二宮に住む子ども、若者、大人6名が参加します。

ゲスト　石戸谷(いしどや) 博範(ひろのり) 氏
（東京大学生産技術研究所
平塚総合海洋実験場）

定置網漁業学の専門家。
2009年水産海洋学会より「相模湾における急潮と定置網漁業防災対策に関する研究」で宇田賞を受賞。
定置網漁業に関する国、地方、業界の各委員を務め、日本沿岸各地の地域活性化に取り組んでいる。
博士（東京大学農学）。

関連イベントのお知らせ

4/15（土）・4/29（土）ワークショップ開催

二宮町では、気候変動対策を推進するため、「気候非常事態宣言」を発出する予定です。
町民の皆さんと一緒に宣言文などをつくります！

お問合せ：二宮町生活環境課
（電話）0463-71-5879　（メール）kankyo@town.ninomiya.kanagawa.jp